

妙高花子さま退院前カンファレンス

《地域連携室》

★本日はお忙しいところお集まりいただきありがとうございます。

さっそくですがこれから、妙高花子さまの退院前カンファレンスを始めさせていただきます。

お忙しい皆様ですので、本日の会議は、おおよそ 15 分、午後1時30分終了をめどに行ないたいと思います。

ご発言は概ね 2 分程度とし、皆様のご協力をお願いします。

★時間もありませんので、皆様ご存知かと思いますが、ご参加していただいた方を私のほうからご紹介させていただきます。ご本人の花子さん、同居されているお嫁さんの由紀さん、4B 病棟 担当看護師の黒川さん、理学療法士の白井さん、主治医の紅花先生、在宅でのケアマネージャーの赤井さん、通所リハビリくれない：相談員の青山さん、在宅主治医の緑川先生です。

★今回、担当者会議を開かせていただいたのは、花子さんの足の手術が終わり、近々退院予定となったためです。退院に向けての課題や目標について話し合うのが本日の目的です。

花子様は、今回自宅で転倒され、右大腿骨骨折にて入院され治療を受けました。まず、担当主治医の紅花先生より入院後の経過と、今後の見通しや注意することについて教えてください。

《紅花先生》

★紅花です。妙高花子さんは、2月20日早朝、トイレに行き部屋に戻る時に廊下で転倒、右大腿骨骨折の為、当日当院4B 病棟に入院されました。翌日プレート固定術を行なっています。術後の経過は順調で、リハビリも行ない、T 杖歩行が安全にできる事を確認できたため今回退院予定となりました。転倒に注意すること、下肢筋力強化運動を毎日行なうことが大切です。転倒される前の生活に戻ることは可能です。痛みがなければ外来通院の必要はありません。金属の固定プレートは特に除去せずそのまま支障ありません。

《地域連携室》

ありがとうございました。それでは担当看護師の黒川さんより、現在の生活の様子について教えてください。

《病棟担当看護師》

★花子様は、現在は見守り下に T 杖を使用して廊下を歩行されています。トイレ動作や食事、おひとりで行なわれていますが、もともと右肩の痛みがあり腕がよくあがらない為、衣服の着脱や靴下を履くような動作でやや介助が必要です。手術直後は、食事量も少なくなかなか歩行訓練も進みませんでした。傷の痛みが軽くなり最近では、ご自分でも積極的にリハビリ室にも通っておられ表情もずいぶん明るくなってきました。糖尿病がありますが、体重も入院前より5kg減り、血糖コントロールも良好です。1日1200キロカロリーの食事内容もだいたい把握されており、退院前に管理栄養士による食事指導が予定されています。内服薬の内容を理解されているので服薬管理についても問題はないと思います。ただし、退院した後の生活に心配があるのか退院を心待ちにしている様子ではないようにも見受けられます。本日の会でご本人やご家族のご心配が軽減されればと思っています。

《地域連携室》

★それでは、花子様ご本人から、現在のお気持ちや退院後心配なこと、ご希望がありましたらお話しください。

《妙高花子》

★手術は怖かったです。うまいって良かったです。手術していただいた紅花先生にはとっても感謝しています。退院はうれしいのですがまた転んじゃうのではないかとと思うとなんだか気分が落ち込みます。

《地域連携室》

★ ご家族のほうから如何でしょうか？

① 開催の宣言と予定終了時刻の周知(司会者)

② 参加者の紹介(司会者)

③ 開催の目的をハッキリさせる(司会者)

④ 疾患の経過と治療内容、今後の大まかな予後について(病院主治医)

⑤ 入院中の日常生活動作や服薬管理、栄養状態、精神状態など(病棟看護師)

⑥ 退院後の希望や心配なこと(ご本人)

《家族:妙高由紀》

★前は、畑仕事から家族の食事作りまで何でもしてくれていたのですが、一昨年の脳梗塞以来、ふさぎこんでいる事が多く、足つきが悪くなっていました。今回の骨折は寝たきりにならずによかったと思っています。でも、今回のことで本人も体を動かす事が大事とわかったようです。これを教訓に本人が積極的にリハビリに取り組んでくれたらいいと思います。

《地域連携室》

★ご家族から、「リハビリ」との言葉がありました。担当されていた理学療法士の白井さん、現在の様子と今後どのようなことを目標にしていくのがいいか、ご意見をお願いします。

《理学療法士》

★白井です。今回手術された右足については、股関節の動きに問題ありませんがまだ右足で片足立ちが十分にできません。荷重を分担する為 T 杖を左手で持って室内を移動することをお勧めします。階段は手すりがあれば大丈夫です。屋外は押し車を使って歩けますが、入院中は十分な練習ができていません。退院後は、通所リハビリテーションなどで筋力強化・バランス練習などと共に、屋外の歩行練習が必要と思います。また、右肩関節の動かせる範囲が狭いことも衣服の着脱などに支障をきたしています。ご自宅でストレッチ体操を毎日行なう必要があると思います。今後自信がついてくれば、台所の食器洗いや洗濯物の片付けなど行なうこともできますし、屋外の歩行練習を重ねていけば簡単な畑仕事も可能と思います。このあたりを目標としてリハビリテーションを行なっていかれたら如何でしょうか。

《地域連携室》

★ありがとうございます。具体的な生活の目標がある程度イメージできたかと思います。それでは、在宅での課題について担当看護師の黒川さんからお願いします。

《担当看護師》

★紅花先生や白井理学療法士から、手術後の注意や歩行などについてお話がありましたので、それ以外の点で2-3お話しします。脳梗塞を発症されてから、全体に自信をなくされ、ご自分の体についての関心もやや薄くなってしまったようです。これから活動的な生活を取り戻されるためには、まず御自身の体のケアについて関心をもちご自分で手入れしていく発想が必要です。糖尿病コントロールや転倒の予防にも通じることなので、水分をこまめに摂る/歯ブラシを毎食後行なう/内服薬を忘れずに服用する/体重や血圧を測定するなどをご自分で行なうことが大事だと思います。花子さんは、十分な能力をお持ちでいらっしゃるから、必ずやおできになれば、入院前より更にお元気になられると思っています。そのためには、セルフケア面での継続した励ましが必要です。訪問看護も有効かもしれませんがご一考ください。日常生活動作の中で、意欲を引き出す工夫をいろいろな場面(家庭内・通所サービス内など)で考えてみてください。また、転倒されたのは早朝の暗い時刻だったと聞いています。トイレや廊下の照明についてもご配慮いただければと思います。

《地域連携室》

★それでは、在宅でのおおまかな介護プランについて、ケアマネージャーの赤井さんよりお願いします。

《ケアマネージャー》

★家では日中お一人になってしまうので、屋間のご自宅での活動をひとりで安全に行なえることを第一に考え、自信のついてきたところで、畑仕事やご近所の家まで出かけることを目標に置きたいと思っています。当初は、週2回の通所リハビリテーションをご利用いただく計画ですが、通所サービスだけでなくさきほど看護師さんからご指摘のとおり、ご自宅の環境整備、日常生活上のご自身でできるケアや運動についてもみていきたいと考えております。

⑦ 退院後の希望や心配なこと(ご家族)

⑧ 専門職からみた現状と今後の目標

⑨ 在宅での課題と対策(主疾患の管理/運動・口腔・栄養・精神面/介護負担など)

妙高花子さま退院前カンファレンス

《地域連携室》

★在宅主治医の緑川先生、お願いします。

《在宅主治医》

★紅花先生はじめ、病院スタッフの皆様のおかげで入院前とほぼ同じ状況になり、大変ありがとうございました。今回転倒のきっかけについて、在宅でもよく検討させていただこうと思います。特に視力の点でも問題がありそうなので眼科の先生にも相談してみます。入院したおかげで、花子さんの生活全体を見直すことができよかったです。花子さんが再び転倒するのを怖がって、活動に消極的になられないよう働きかけて行きたいと思います。

《地域連携室》

その他、病院スタッフに何かご質問はありませんか？

《通所リハビリくれない：相談員》

★よろしいですか。通所リハビリでの入浴は必要でしょうか？入浴は一部介助が必要となっていますが、、、

《理学療法士》

★先週末に試験外泊で入浴動作を行なっていただきました。手すりや滑り止めマットが既に設置されており、浴槽の出入りで若干手を貸す必要がありますが、ほとんど見守りで自宅入浴可能です。ご家族とご本人のご意向で決めていただいて良いかと思います。

《地域連携室》

★病院スタッフのほうから追加することはありますか？

《担当紅花医師》

★入浴自体は自宅で充分かもしれませんが、今後、町内会での温泉旅行などに参加することを考えると一般浴槽での入浴も経験しておくことは必要かもしれません。それから、右足への荷重を避けていると、健側の左ひざ関節に負担がかかり問題が生じかねません。左右均等に力を入れるように心がけてください。

《地域連携室》

★いろいろな意見をありがとうございました。よりよい在宅生活が送れますよう今後も、皆さんのご意見を頂いていきたいと思っています。お忙しいところありがとうございました。

⑩ 在宅療法の方針

⑪ 病院スタッフへの質問

⑫ 在宅スタッフへの要望

⑬ その他